

社会福祉法人 阿闍羅会 永年勤続表彰式

ワークショップ大鰐 施設長 白石 安英

阿闍羅

題字
賀山雄太

発行・編集

社会福祉法人
阿闍羅会

青森県南津軽郡大鰐町大字

三ツ目内字水沢出口 117-1

電話 0172(48)2426

■実施事業

○ワークキャンパス大鰐

- ・生活介護
- ・就労継続支援B型

○ワークショップ大鰐

- ・就労移行支援
- ・就労継続支援B型

○グループホーム 4棟

- ・グループホームすみれ荘
- ・グループホームあやめ
- ・グループホームこすもす
- ・グループホームさくら

【平成31年2月 現在】



去る平成三十年十一月十三日勤労感謝の日に、大鰐町不二やホテルにおいて、社会福祉法人阿闍羅会の永年勤続表彰式が行われました。当日は、合わせて感謝

状贈呈式も行われました。今回は、法人創立二十周年にあたり、理事長より勤続十年以上の職員五名に表彰状並びに記念品が、同じく勤続十年以上の理事・評

議員(三名)、嘱託医(一名)、非常勤職員(五名)の皆様へ感謝状並びに記念品がそれぞれ贈呈されました。引き続き開催された役員懇親会には約四十名が出席し、楽しい時間を過ごすことができました。受賞者お一人お一人からこれまでの思い出話や苦労話、これからの抱負などお話しいただきながら、賑々しくも和やかに歓談することができました。

「公開研修を開催

〜改めて気付くこと〜

ワークショップ大鰐 田中 大生

平成三十年十一月二十二日、平成三十年度全職員対象「職員スキルアップ研修」の第二回目を、地域の皆様に「公開研修会」として開催しました。障害者理解のための研修会として、「共生社会の実現に向けて」障害者と向き合うとともに、個人を尊重するために「〜をテーマに、最初に全員で青森県立盲学校教諭の西澤友紀氏より「様々な障害者と向き合うときの視点」障害がある立場から」についてご講演いただき、次に「成年後見制度と権利擁護支援」について、あおい森

ねつと代表理事の三上富士子氏からご講演いただきました。西澤氏は、自動販売機で飲み物を買う際には何が出てくるか分からないこと、ATMでの振込ができないこと、服の色が分からずちぐはぐになることがあることなど、私たちが普段当たり前にしていることが難しく、それによる苦労を実体験から話されました。また、親切心からの対応で自宅まで送ってあげようとか言われ困った体験や(知らない人に自宅を知られることが不安)、急に目の前から声を

- (永年勤続表彰)
(勤続十年以上)
佐藤 直幸、中平 恵美
竹内 友紀、中嶋 綾子
幸山 稚子
(感謝状)
(勤続十年以上)
中島 謙一、相馬 康穂
岩淵 安孝、小山内幹浩
神 則男、三浦 節美
小林 一、山中 美雪
中島 敏子 (敬称略)



かけられビックリしてしまふことなど、改めて気付かされることなども聞くことができました。参加者からは、「リアルな話しに感動しました。」「盲導犬を初めてまじまじと見ました。」「目の見えない方の世界をすこし知ることができました。」「実際の貴重なお話が聞けました。」などの反響をいただき、次回も「障がいのある方本人の話」を聞きたいという要望もありました。三上氏からは、今までも成年後見制度に関する内容で講演をしていただいていたが、今回は「後見人としてできないこと」に視点を置いた実際にあったケースについて具体的にお話していただきました。

ワークまつり

ワークキャンプ大鱈 相馬 良子

九月九日(日)、ワークキャンプ大鱈イベント広場を会場に、第二十二回ワークまつりを開催しました。開催にあたり、大鱈町ボランティア協議会の方々や近隣施設、鰯カムの出店、親の会の方々より協力をいただきました。

沢山の種類がある食べ物や手作りの商品、利用者の方々が楽しめるくじやバザー等、両手一杯に買い物袋を持った利用者や来場された方々が笑顔で楽しんでいました。

アトラクションでは、花柳一重会の演舞や、ひまわりの会による歌やダンス、黒石よされの流し踊りを利用者も一緒に楽しんでいました。豪華な景品が当たる抽選会では、番号を引く度に会場より「当たった!」との声が上ががり盛況でした。

一年に一度の大きな催しですが、今年も沢山の皆様を支えられ、ご協力と協賛をいただきましたことを、心より感謝いたします。



宿泊訓練

ワークショップ大鱈 中嶋 綾子

少し肌寒くなった平成三十年十月十三日〜十四日に岩木青少年スポーツセンターに宿泊訓練で出かけて来ました。宿泊を伴う行事は初の試みで、公共の場でのルールを守り団体行動での協調性を養うことや余暇の過ごし方の様子などの情報収集の機会として、利用者職員共に有意義な時間を過ごす機会となりました。決められたスケジュールの中で、時間を守りつつ皆で無事に乗り越えた一泊でした。その中で、班での協力

が求められたフィールドワークでは、急な斜面を登ったり広大な敷地でポイントをクリアしたりしていくという楽しさもあり辛さもあついで心配もありましたが全員がゴールできて一人一人の清々しい表情が印象に残りました。また夜の体育館では、キャンドルに灯を点し班ごとの一年の目標を発表して最後は花火をして楽しみました。保護者の皆様には、いろいろご協力いただき本当にありがとうございます。



利用者忘年会

ワークキャンプ大鱈 中平 恵美

十二月十五日(土) 鱈ヶ沢町にあるホテルグランメル山海荘において、利用者忘年会が行われました。利用者の皆さんは、この日を心待ちに日々の仕事を頑張ってきました。

みんなで温泉につかってサッパリし、露天風呂から冬の日本海を眺め、日頃の疲れを癒やしました。湯上がりに、アイスやジュースの売り場は混み合い、レジには行列ができていました。温泉を済ませて一息ついたところで会食とゲームを行いました。

会食では豪華なお膳を美味しくいただき、利用者の皆さんは笑顔いっぱいでした。会食の後は、利用者の表彰式と今年の頑張ったことや来年に向けての抱負や目標を発表してもらいました。利用者みなさんの目標や抱負は、次の仕事への意欲や活力が強く感じられました。

その他、利用者みんなでジャンケンゲームを楽しみ、それぞれ景品を貰い満面の笑顔でした。この日はみんなで眺めの良い温泉に入り日頃の疲れを癒やし、



美味しいご馳走を食べて笑顔いっぱいになって、今年一年の労をねぎらい有意義な時間を過ごしました。

ノウフクマルシェ

ワークショップ大鱈 鎌田 健司

まず初めに、ノウフクマルシェとは何か。ノウフクは農業と福祉を意味し、マルシェは市場を意味しています。目的は農業実施就労支援事業所が集まりマルシェ(市場)を開催し、多くの商品を売り上げることです。それらの就労支援事業所を利用する方々の工賃の向上に繋げようとするものです。

客様も年々増えていきます。その中には、当法人の利用者さんが、保護者の方と一緒に来てくださることもありました。数ある商品の中で利用者の皆さんが頑張つて育てたねぎやしいたけは毎年好評で、お客様から「阿闍羅会さんのねぎ・しいたけ美味しいよね」等のお声を掛けていただくことも多く、これを励みにこれからも作業に頑張つて取り組んで欲しいと思います。

